

# 落語関係主要文献

- ※ 1 ●を付したものはわたしが所蔵するもの
- 2 (図) を付したものは府中市立図書館所蔵のもの
- 3 「図書館になし」とするのは、重要書で府中市立図書館が所蔵しないもの
- 4 赤字は最重要文献

## I

- 関根黙庵「江戸の落語」(1906, 68 復刻) ●
- 海賀変哲「落語の落」(1911)(97 東洋文庫) (図)
- 関根黙庵「講談落語今昔譚」(24)
- 渡辺 均「落語の研究」(43, 増補版として「落語の鑑賞」49)
- 正岡 容「随筆寄席風俗」(43, 「完本正岡容寄席随筆」06 所収) (図)
- 野村無名庵「落語通談」(43)
- 
- 正岡 容「随筆寄席行灯」(46)
- 麻生磯次「笑の研究 - 日本文学の洒落性と滑稽の発達」(47)
- 渡辺 均「落語の鑑賞」(49) 図書館になし
- 安藤鶴夫「落語鑑賞」(49, 改訂版60) (図)
- 福田定良「民衆と演芸」(53, 84 特装版) (図)
- 今村信雄「落語の世界」(56, 平凡社ライブラリー00) ●
- 今村信雄「落語事典」(57) 図書館になし
- 暉峻康隆「庶民の娯楽 - 落語の歴史」(日本文化研究5 所収) (59)
- 
- 安藤鶴夫「寄席紳士録」(60, 91, 00) (図)
- 関根黙庵「講談落語考」(60, 「講談落語今昔譚」24, 99) (図)
- 暉峻康隆「日本人の笑い」(61, 12 文春文庫)
- 江國 滋「落語手帖」(61, 82 旺文社文庫, 13 ちくま文庫) ▲(「落語への招待」)
- 関山和夫「安楽庵策伝 - 咄の系譜」(61, 67) (図)
- 加太こうじ「落語 - 大衆芸能への招待」(62) (図)
- 永井哲夫「三遊亭円朝」(62, 新版11) (図)
- 関山和夫「説教と話芸」(64) (図)
- 宇井無愁「上方落語考」(65) (図)
- 江國 滋「落語美学」(65, 06 ちくま文庫) ▲(「落語への招待」) (図)
- 安藤鶴夫「わが落語鑑賞」(65, 93 ちくま文庫) (図)
- 安藤鶴夫「わたしの寄席」(66) (図)
- 武藤禎夫編「江戸小咄辞典」(65) (図) ●
- 武藤禎夫「噺本概説」(武藤禎夫編「江戸小咄辞典」所収) (65)
- 前田 勇「上方演芸辞典」(66) 図書館になし
- 前田 勇「改訂増補 上方落語の歴史」(66, 初版58) ●

- 今村信雄「落語ハンドブック」(67) 図書館になし
- 興津 要「落語 笑いの年輪」(68, 04 講談社学術文庫) ●
- 興津 要「明治開化期文学の研究」(68)
- 宇井無愁「日本人の笑い」(69) (図)
- 江国 滋「落語無学」(69, 82 旺文社文庫, 08 ちくま文庫) ▲(「落語への招待」)
- 暉峻康隆＝三遊亭圓生「落語芸談 上・下」(69)
- 安藤鶴夫「落語国紳土録」(69, 91 ちくま文庫, 00 平凡社ライブラリー) (図)
- 東大落語会編「落語事典」(69)
- 
- 宇井無愁「落語の原話」(70) (図)
- 矢野誠一「落語 - 語り口の個性」(70) (図)
- 武藤禎夫「江戸小咄の比較研究」(70) (図)
- 江國 滋「絵本・落語風土記」(70, 河出文庫07) (図)
- 布施昌一「日本人の笑いと落語」(70) (図)
- 芸能史研究会編「日本の古典芸能 9巻寄席」(71) ●
- 池上信一「落語倫理学」(71) (図)
- 内山惣十郎「落語家の生活」(71) (図)
- 三田純一「上方芸能」(71) (図)
- 宇井無愁「落語の系譜 - 上方落語と東京落語」(72) (図)
- 中野誠一「落語 長屋の四季」(72) (図)
- 関山和夫「説教と話芸」(72) (図)
- 関山和夫「話芸の系譜 大衆話芸の歴史をさぐる」(73) (図)
- 東大落語会編「増補 落語事典」(73)
- 大西賢一「落語の論理」(73) (図)
- 福田定良「落語としての哲学」(73)
- 中島平八郎「生きている上方落語」(73) (図)
- 興津 要「江戸小咄」(73) ●
- 興津 要「落語と江戸っ子」(73) (図)
- 「国文学 解釈と教材の研究 245 (18巻4号) 落語のすべて」(73)
- 「国文学 解釈と教材の研究 268 (19巻11号) 古典落語の手帖」(74) ●
- 麻生芳伸「噺のはこび」(74)
- 山本益博「さよなら名人芸 - 桂文楽の世界」(74) (図)
- 加太こうじ「落語の世界1～5」(74, 75) (図)
- 興津 要「日本文学と落語」(74) (図)
- 興津 要「古典落語と落語家たち」(74) (図)
- 興津 要「落語の風土」(75) (図)
- 加太こうじ「江戸の笑い小ばなし歳時記」(75, 87) (図)
- 安藤鶴夫「三木助歳時記」(75, 08) (図)
- 江國 滋「落語三部作」(75) (図)
- 林家正蔵＝坊野寿山「落語寄席風俗誌」(75) (図)

武藤禎夫＝岡雅彦「噺本大系」(75-79) (図)  
宇井無愁「落語の根多」(76)  
芸能史研究会編「日本庶民文化史料集成 第8巻 寄席・見世物」(76) (図)  
暉峻ほか「落語入門ゼミナール」(76) ●  
興津 要「江戸小咄(続)」(76) ●  
古典芸能研究会編「現代落語事典」(77, 新版88)  
榎本滋民「落語俗物園」(77)  
宇井無愁「日本の笑話」(77) (図)  
宇井無愁「落語のふるさと」(78) (図)  
関山和夫「説教の歴史」(岩波新書78, 白水Uブックス93) (図)  
暉峻康隆「落語の年輪」(78, 河出文庫07) ●  
北村和夫「落語風俗事典 上・下」(78, 79)  
江国 滋「落語への招待」(78, 98) ●  
川戸貞吉「現代落語家論 上・下」(78) (図)  
川戸貞吉「新現代落語家論」(79) (図)  
矢野誠一「古典落語」(79) (図)  
興津 要「落語 江戸から近代へ」(79) ●  
小島貞二「落語三百年 - 江戸の巻」(79) (図)  
小島貞二「落語三百年 - 明治・大正の巻」(79) (図)  
小島貞二「落語三百年 - 昭和の巻」(79) (図)

祖田浩一「寄席行燈 - 狂馬楽の生涯」(80) (図)  
和田 誠「落語横車」(80) (図)  
安藤鶴夫「文楽 - 芸と人」(80)  
安藤鶴夫「寄席」(81, 97 安藤鶴夫作品集2) (図)  
興津 要「小咄 江戸の一年(ひととせ)」(81) (図)  
樋口清之「日本人の歴史9 笑いと日本人」(82) (図)  
橘 右近「橘右近コレクション 寄席百年」(82)  
野村無名庵「落語通談」(82)  
保田武宏「ライブラリー落語事典 東京編」(82) (図)  
小島貞二＝遠藤佳三＝鈴木重夫編「落語家面白名鑑」(82)  
相羽秋夫「上方落語かたいれ事典」(82)  
中村幸彦「中村幸彦著述集第10巻舌耕文学談」(83) (図)  
戸井田道三「まんじゅうこわい - 落語の世界」(83) (図)  
興津 要「江戸小咄女百態」(83) (図)  
榎本滋民「落語小劇場 上の巻・下の巻」(83) (図)  
野村無名庵「本朝話人伝」(83, 05) (図)  
宇井無愁「落語のみなもと」(83) (図)  
矢野誠一「志ん生のいる風景」(83, 87) (図)  
木津川計「上方の笑い - 漫才と落語」(84) (図)

- 山口昌男「笑いと逸脱」(84, 筑摩文庫90) (図)
- 榎本滋民「古典落語の世界」(84) ●**
- 古川喜一郎「上方笑芸の世界」(84) (図)
- 川戸貞吉「対談落語芸談 1 - 4」(84-93) (図)
- 関山和夫「落語風俗帳」(85, 白水Uブックス) (図)
- 井上 宏編「放送芸能史」(85) 図書館になし**
- 興津 要「恋しき落語家たち」(85) (図)
- 興津 要「江戸小咄散歩」(85, 12) (図)
- 小山観翁「落語鑑賞の基礎知識」(85) (図)
- 小山観翁「落語の雑学」(85)
- 延広真治「落語はいかにして形成されたか」(86, 11「江戸落語 誕生と発展」●)**
- 色川武大「寄席放浪記」(86) (図)
- 関山和夫「落語食物談義」(86, 白水Uブックス91) (図)
- 関山和夫「落語名人伝」(86, 白水Uブックス92) ●
- 朝日新聞社編「落語文化史 - 笑いの世界に遊ぶ」(86) (図)**
- 興津 要「江戸小咄商売往来」(86) (図)
- 興津 要「落語家 懐かしき人たち」(86) (図)
- 都家歌六「落語レコード八十年史 上・下」(87) (図)
- 相羽秋夫「現代上方落語便利事典」(87)
- 興津 要「江戸小咄 春夏秋冬」(87) (図)
- 武藤禎夫「元禄期 軽口本集一近世笑話集」(87) ●**
- 武藤禎夫「化政期 落語本集(上・下)」(88) ●**
- 榎本滋民「古典落語の力」(88) ●**
- 肥田皓三「上方学芸史叢攷」(88)
- 古典芸能研究会編「新版 現代落語事典」(88) 図書館になし
- 加太こうじ「定本 落語」(89) (図)
- 諸芸懇話会・大阪芸能懇話会「古今東西落語家事典」(89) (図)**
- 山本 進「えびたふ 六代目圓生」(90) (図)
- 関山和夫「落語風俗帳(白水Uブックス)」(91) (図)
- 中野誠一「落語は物語を捨てられるか」(91) (図)
- 佐藤光房「合本 東京落語地図」(92, 旧版は88, 90) (図)
- 関山和夫「落語名人伝(白水Uブックス)」(92) ●**
- 関山和夫「説教の歴史 仏教と話芸(白水Uブックス)」(92) (図)**
- 川田順造「口頭伝承論」(92, 01 平凡社ライブラリー) (図)
- 加太こうじ「江戸の笑い」(92) (図)
- 吉本興業「吉本八十年の歩み」(92)
- 矢野誠一「落語食譜」(92) (図)
- 興津 要編「日本の名随筆(別巻29) 落語」(93) (図)**
- 矢野誠一「円生とパンダが死んだ日」(93) (図)

矢野誠一「落語手帖 - 梗概・成立・鑑賞・芸談・能書事典」(88, 94) (図)

東大落語会「増補 落語事典(改訂版)」(94) ●

野村雅昭「落語の言語学」(94, 13) (図)

矢野誠一「落語歳時記」(95) (図)

榎本滋民「落語名人大全」(95) (図)

野村雅昭「落語のレトリック」(96) (図)

豊田善敬編「桂春団治 はなしの世界」(96) (図)

藤浦 敦「三遊亭圓朝の遺言」(96) (図)

山本 進「落語ハンドブック」(96, 01, 07) (図)

旅の文化研究所「日本の旅文化」(97)

矢野誠一「文人たちの寄席」(97) (図)

金子桂三ほか「昭和髙座の名人たち」(97) (図)

吉田章一「東京落語散歩」(97) (図)

矢野誠一「落語家の居場所一わが愛する芸人たち」(97) (図)

相羽秋夫「落語を食べる」(97) (図)

安藤鶴夫「(復刻)安藤鶴夫作品集Ⅱ」(97) (図)

別冊太陽「落語への招待」(97)

川戸貞吉「落語雑記帳」(98)

永井啓夫「新版 三遊亭圓朝」(98, 旧版71) (図)

暉峻康隆「落語藝談」(98) (図)

石井 明「落語を楽しもう(岩波ジュニア新書)」(99) (図)

橘 左近「東都噺家系図」(99) (図)

池内 紀「半紙の名人 - 東京落語地誌」(99)

TBS 落語研究会「とことん楽しむ落語のすべて」(99) (図)

関根黙庵(山本進校注)「講談落語今昔譚」(99) (図)

小島貞二「志ん生の忘れもの」(99) (図)

矢野誠一「三遊亭圓朝の明治」(99) (図)

宮尾興男「上方舌耕文芸史の研究」(99)

京須借充「ガイド落語名選200」(99)

野村雅昭「落語の話術」(00) (図)

旅の文化研究所「落語に見る江戸の食文化」(00)

水川隆夫「漱石と落語」(86, 00 平凡社ライブラリー)

相羽秋夫「落語入門百科」(00) (図)

たばこと塩の博物館「浮世絵に見る落語」(01)

沢田隆治「笑いをつくる 上方芸能笑いの放送史」(02) (図)

延広真治=山本進=川添裕「落語の世界 1、2、3」(03) (図)

「国文学 解釈と鑑賞 863 - 特集=舌耕芸 落語誕生」(03)

槇野 修「落語で江戸を聴く」(03) ●

小林信彦「名人 志ん生、そして志ん朝」(03) (図)  
矢野誠一「落語長屋の商売往来」(03) (図)  
八木忠栄「ぼくの落語ある記」(03) (図)  
小島貞二「禁演落語」(03) (図)  
長井好弘「寄席おもしろ帖、同第2集」(03, 04) (図)  
**中込重明**「落語の種明かし」(04) (図)  
**榎本滋民**「落語言葉辞典」(04)  
京須借充「古典落語 これが名演だ! (光文社新書)」(05) ●  
京須借充「古典落語CDの名盤 (光文社新書)」(05) ●  
山田敏之「役に立つ落語 - ソニー・エンジニアが名人芸から学んだこと」(05) (図)  
井上ひさし「円生と志ん生」(05) (図)  
八木忠栄「落語はライブで聴こう」(05) (図)  
**正岡 容**「小説 圓朝」(05) (図)  
矢野誠一＝草柳俊一「落語CD&DVD名盤案内 (だいわ文庫)」(06) ●  
**桂米朝ほか編**「完本 正岡容寄席随筆」(06) (図)  
**山本 進**「図説落語の歴史」(06) ●  
安藤鶴夫「寄席はるあき」(06) (図)  
大友 浩「花は志ん朝」(06) (図)  
中野 翠「今夜も落語で眠りたい」(06) (図)  
木津川 計「上方芸能と文化 - 都市と笑いと語りと愛」(06) (図)  
**正岡 容**「寄席囃子—寄席随筆集(河出文庫)」(07) ●  
江國 滋「絵本・落語風土記」(07) (図)  
山本 進「落語ハンドブック」(07) (図)  
色川武大「寄席放浪記」(07) (図)  
矢野誠一「志ん生の右手 - 落語は物語を捨てられるか」(07)  
矢野誠一「人生読本 落語版」(08) (図)  
**興津 要**「忘れ得ぬ落語家たち」(08) (図)  
湯川博士「落語うんちく事典」(08) (図)  
幸津國生「古典落語の人間像 - 古今亭志ん朝の噺を読む」(08)  
小島政二郎「円朝」(08) (図)  
吉田章一「江戸落語便利帳」(08) (図)  
広瀬和生「この落語家を聴け!」(08) (図)  
八木忠栄「落語新時代」(08) (図)  
「国文学 解釈と教材の研究 \*\*\* (53巻8号) 落語を愉しむ」(08)  
ムック「落語百景」(08)  
吉川 潮「戦後落語史」(09) ●  
神津友好「落語の手帖」(09) (図)  
落語ファン倶楽部「落語 大看板列伝」(09) (図)  
矢野誠一「落語手帖」(09) (図)  
矢野誠一「落語のこと少し」(09) (図)

稲田和浩「はたらく落語」(09) (図)  
河合昌次「江戸落語の舞台を歩く」(09) (図)  
松本尚久「落語の聴き方 楽しみ方」(10) (図)  
広瀬和生「現代落語の基礎知識」(10) (図)  
広瀬梶尾「この落語家をよろしく」(10) (図)  
菅野俊輔「古地図と名所図会で味わう江戸の落語」(11) (図)  
**延広真治「江戸落語 誕生と発展」(11) ●**  
戸田 学「上方落語の四天王 - 松鶴・米朝・文枝・春団治」(11) (図)  
京須借充「こんな噺家は、もうでませんな」(11) (図)  
**京須借充「落語家 昭和の名人くらべ」(12) (図)**  
**柏木 新「落語の歴史 江戸・東京を舞台に」(12) (図)**  
興津 要「江戸小咄散歩」(12) (図)  
広瀬和生「噺家のはなし」(12) (図)  
山本 進「落語の履歴書 - 語り継がれて400年」(12)  
山本 進「楽しい落語 江戸以来四百年、そして未来へ」(13) (図)  
広瀬和生「落語評論はなぜ役に立たないか」(13) (図)  
戸田 学「上方落語の四天王の継承者たち」(13) (図)  
堀井憲一郎「落語論」(13) (図)  
中野 翠「この世は落語」(13) (図)  
河合昌次「江戸落語の舞台を歩く」(13) (図)  
長井好弘「落語と川柳」(13) (図)  
橘 左近「落語入門 知れば知るほど面白い古典落語 (じっぴコンパクト新書)」(14) (図)  
京須借充「古典落語 これが名演だ」(14) ●  
戸田 学「上方落語の戦後史」(14) (図)  
落語日和編集委員会「落語日和」(14) (図)  
稲田和浩「大人の落語評論」(14) (図)  
**中川 桂「江戸時代落語家列伝」(14) (図)**  
須田 努「三遊亭圓朝と江戸落語」(15) (図)  
矢野誠一「落語を歩く 鑑賞三十一話」(15) (図)  
矢野誠一「ぜんぶ落語の話」(16) (図)  
稲田和浩「落語に学ぶ大人の極意」(16) (図)  
国土社編集部「大研究 落語と講談の図鑑」(16) (図)  
興津 要「江戸小咄商売往来 上・下」(16)  
瀧口雅仁「古典・新作落語事典」(16) (図)  
山本 進「落語」(16) (図)  
田中 敦「落語九十九旅」(16) (図)  
**岡田則夫編「落語研究資料解題 明治～平成一速記本・SPレコードデータ」(16) (図)**  
田中 敦「落語と歩く」(17) (図)  
広瀬和生「噺は生きている 名作落語進化論」(17)  
大友 浩「落語・寄席芸」(17)

榎本滋民＝京須借充「落語ことば・事柄事典」(17)  
高島幸次「上方落語史観」(17) (図)  
中野 翠「この世は落語」(17) (図)  
堂門冬二「たのしく生きたきゃ落語をお聞き」(17)  
ムック「落語ワンダーランド」(17)  
連雀ほか「噺家の魂が震えた名人芸落語案内」(17)  
矢野誠一「落語登場人物事典」(18) (図)

## II

桂 文楽「芸談 あばらかべっそん」(57, 文庫80, 92) (図)  
桂 文楽「文楽の落語藝談―長生きするのも芸のうち」(15)  
古今亭志ん生「なめくじ艦隊」(56) (図)  
古今亭志ん生「びんぼう自慢」(64, 05) (図)  
春風亭柳橋「高座五十年」(58)  
**三遊亭円生「明治の寄席芸人」**(71, 01, 17) (図)  
**三遊亭円生「寄席育ち」**(71, 新版99) ●  
**三遊亭円生「寄席楽屋帳」**(76) (図)  
三遊亭円生「寄席切絵図」(77) (図)  
三遊亭円生「書きかけの自伝」(85) (図)  
三遊亭円生「江戸散歩 上・下」(86)  
三遊亭円生「噺のまくら」(15) (図)  
三遊亭円生「浮世に言い忘れたこと」(17)  
**三遊亭金馬「浮世断語」**(08、「日本の芸談8巻」(79)所収) (図)  
三遊亭金馬「落語東京名所図絵」(76) (図)  
三遊亭金馬「金馬のいななき」(06) (図)  
林家正蔵「林家正蔵随談」(67)  
林家正蔵「正蔵一代」(74, 01) (図)  
林家正蔵「芸の話」(74) (図)  
林家正蔵「落語寄席風俗誌」(75) (図)  
林家正蔵「高座舌鼓」(14) (図)  
**柳家小さんほか「芸談・食談・粹談」**(75, 13)  
柳家小さん「咄も剣も自然体」(94)  
柳家小さんほか「芸談」(03)  
**松鶴亭松鶴「上方落語」**(87)  
**桂 米朝「落語と私」**(86, 新装版05) ●  
桂 米朝「上方落語ノート 正」(78) (図)  
桂 米朝「上方落語ノート 続」(85) (図)  
桂 米朝「一芸一談」(91) (図)  
桂 米朝「上方落語ノート 4集」(98) (図)  
桂 米朝「わたしの履歴書」(02) (図)

桂 米朝「米朝よもやま噺」(07) (図)  
桂 小南「落語案内」(82)  
山下敬太郎(柳家金語楼)「泣き笑い五十年」(59)  
橘家円蔵「てんてん人生」(67)

桂枝雀「桂枝雀のらくご案内」(96) (図)  
古今亭志ん朝「世の中ついでに生きてたい」(05, 11)  
古今亭志ん朝「もう一席うかがいます」(06) (図)

**立川談志「現代落語論」**(65) (図)  
立川談志「談志楽屋噺」(87) (図)  
立川談志「談志絶倒昭和落語家伝」(07) (図)  
立川談志「最後の落語論」(09) (図)  
立川談志「談志が遺した落語論」(14) (図)  
柳家つばめ「落語の世界」(67, 09) (図)  
柳家つばめ「創作落語論」(72) (図)  
柳家小三治「ま・く・ら」(98) (図)  
柳家小三治「もひとつま・く・ら」(01) (図)  
柳家小三治「落語家論」(07) (図)

柳家小満ん「わが師、桂文楽」(96) (図)  
柳家小満ん「江戸東京落語散歩」(09) (図)  
柳家小満ん「小満んのご馳走」(15) (図)  
春風亭小朝「苦悩する落語」(00) (図)  
春風亭小朝「いま、胎動する落語」(06) (図)  
立川談春「赤めだか」(08, 扶桑文庫15) (図)  
立川志らく「落語進化論」(11) (図)  
立川志らく「雨ン中の、らくだ」(12) (図)  
立川吉笑「現在落語論」(15)  
三遊亭遊雀=瀧川鯉昇「噺家の魂が震えた名人芸落語案内」(17)  
桂 文我「落語「通」入門」(06) (図)  
桂 文我「初代桂文治ばなし」(16) (図)

### III

飯島友治編「古典落語 1-5巻(筑摩書房)」(68) (図)  
飯島友治編「古典落語 第2期 1-5巻(筑摩書房)」(71-74) (図)  
飯島友治編「古典落語 文楽集」(89) ●  
飯島友治編「古典落語 志ん生集」(89) ●  
飯島友治編「古典落語 円生集 上・下」(89, 90) ●  
飯島友治編「古典落語 小さん集」(90) (図)  
飯島友治編「古典落語 金馬・小円朝集」(90) (図)

- 飯島友治編「古典落語 正蔵・三木助集」(90) ●
- 飯島友治編「古典落語名作選 上・下 (筑摩叢書)」(85, 88) (図)
- 江國ほか編「古典落語大系 (全8巻) (第三書房)」(69-70) (図)
- 興津 要「古典落語(上)・(下)・(続)・(続々)・(続々々)・(大尾) (講談社)」(72, 73) (図)
- 興津 要「古典落語」(02)
- 興津 要「古典落語 (続)」(04)
- 興津 要「古典落語 (選)」(15)
- 麻生芳伸「落語選集 上・下」(00)
- 麻生芳伸「落語特選 上・下」(00) (図)
- 麻生芳伸「落語百選 - 春、夏、秋、冬」(99) (図)
- 富田 宏編「古典落語全集」(69) (図)
- 富田 宏編「古典落語名作選」(74) (図)
- 小島貞二「定本・落語名作全集」(72)
- 今村信雄編「落語全集 上・中・下」(68) (図)
- 今村信雄編「名作落語全集」全12巻(75) (図)
- 今村信雄編「落語選集」全15巻(74, 75) (図)
- 山本進ほか編「落語名作全集」全5巻(60)
- 榎本滋民編「落語名作全集<第二期>」全5巻(61)
- 小島貞二編「落語名作全集1~6」(68) (図)
- 小島貞二編「定本 落語名作全集 上・下」(73) (図)
- 小島貞二編「落語三百年」(66)
- 江國滋ほか編「古典落語大系 1巻~8巻」(三一新書)(73, 74) (図)
- 落語協会編「古典落語1~9」(角川)(74) (図)
- 上方落語協会「古典落語10 上方ばなし」(75) (図)
- 講談社出版研究所編「落語文庫 1(松の巻)~18(雲の巻)」(76) (1・6を除き図)
- 角川春樹事務所など「古典落語1-9」(11)
- 武藤禎夫「落語300題 上・下」(69)
- 武藤禎夫「定本 落語三百題」(07) ●
- 東大落語会編「落語事典」(69)
- 東大落語会編「増補 落語事典」(84)
- 東大落語会「増補 (改訂版) 落語事典」(94) ●
- 矢野誠一「落語読本 - 精選三百三席」(89)
- 矢野誠一「新版・落語手帖」(09)
- 今村信雄「落語事典」(57)
- 今村信雄「古典落語全集 上・下」(12)
- 榎本滋民=三田純市「落語名人大全」(95)
- 京須借充「ガイド落語名作プラス100選」(99)
- 京須借充「落語名作200席(上・下)」(14) (図)
- 延広真治編「落語の鑑賞 201」(02) ●

古典芸能研究会編「新版 現代落語事典」(88)

- 「三遊亭円朝全集1-7、別巻」(75) (図)  
「円朝全集」全13巻(15)  
「三遊亭小圓朝集」(69)  
「桂文楽全集 上・下」(73) (図)  
「志ん生落語全集1巻-7巻」(77) (図)  
「志ん生文庫」(93) (図)  
「円生全集」1-4巻、別巻上・中・下(80, 81)  
「円生古典落語1、2新版」(92) (図)  
「円生の落語 1~3」(10) (図)  
「桂文楽全集」(89) (図)  
「柳家小さん集 上・下」(68) (図)  
「小さん落語集 上・中・下」(旺文社文庫)(87) (図)  
「林家正蔵集上・下」(74)  
「桂三木助集」(63) (図)  
「米朝落語全集 増補改訂版」全8巻(14)  
「上方落語 桂米朝コレクション 1~8」(03)  
「桂小南集」(72) (図)  
「志ん朝の落語1~6」(04) (図)  
「談志の落語1~9」(11) (図)  
「柳家小三治の落語」(17, 18) (図)  
「桂枝雀爆笑コレクション1~5 上方落語」(06) (図)  
笑福亭松鶴「上方落語」(05) (図)  
笑福亭松鶴「上方落語100選」(12)  
桂 文我編「復活珍品上方落語選集、同続、同続々」(07, 11, 12) (図)  
立川志の輔選・監修「古典落語100席」(97)  
円窓五百噺 <http://www.ensou-dakudaku.net/znshu/f-znshu.html>

IV

「戯言養気集」●

「醒醉笑」(安楽庵策伝・宮尾興男訳注-講談社学術文庫 1648) ●

「きのふはけふの物語」(岩波日本古典文学大系所収 ●、講談社学術文庫、東洋文庫)

「百物語」

「元禄期軽口本集 近世笑話集 上」●

「安永期小話本集 近世笑話集 中」●

「化政期落語本集 近世笑話集 下」●

「江戸笑話集」(日本古典文学大系100) ●

「江戸小咄」(興津編) ●

「江戸小咄(続)」(興津 要編) ●

「江戸小咄集成 上・中・下」(浜田義一郎編) (図)

「噺本大系1巻 - 20巻」(武藤禎夫=岡雅彦編) (図)

- 「落語全集」全3巻（野間清治編）（29）  
「口演速記 明治大正落語集成」全7巻（講談社）（80～81）（図）  
「昭和戦前傑作落語全集」全6巻（講談社）（81～82）（4, 5, 6を除き図）  
「人名名演落語全集」全10巻（齋藤忠市郎編）（立風書房）（82）（図）  
「新撰 落語大全」（05）  
「新 日本古典文学大系 明治編」全1巻（06）  
「CDつきマガジン 隔週刊 落語 昭和の名人 決定版」全26巻（09）  
「昭和戦前傑作落語選集」全2巻（13）（図）  
「文芸別冊 KAWADE 夢ムック（文楽、志ん生、円生・・・）」（15）  
「落語研究資料解題 明治～平成：速記本・SPレコードデータ付き」（16）（図）

## V

- 「東京かわら版」  
「落語ファン倶楽部」  
「落語界」  
「はなしの名どころ」  
<http://www.nadokoro.com/index.htm>  
「落語の舞台を歩く」  
<http://ginjo.fc2web.com/index.htm>  
「落語に関する本」  
<http://cd-v.net/amakin/>  
「落語協会」  
<http://rakugo-kyokai.jp/>  
「落語芸術協会」  
<http://www.geikyo.com/etc/link.php>  
「上方落語協会」  
<https://kamigatarakugo.jp/>

## 【主要参考文献】

- 芸能史研究会編「日本の古典芸能 9巻寄席」研究の手引き・同上方編（関山和夫・肥田皓三）  
小島貞二「落語に関する一〇〇冊の本」「落語名作全集 第5巻」付載  
「落語研究鑑賞文献案内」国文学「古典落語の手帖」付載  
暉峻ほか「落語入門ゼミナール」383 - 392頁（武藤禎夫）  
興津 要編「日本の名随筆別巻2 9 落語」巻末242 - 243頁  
延広真治編「落語の鑑賞201」巻末214 - 216頁  
延広＝山本＝川添編「落語の世界2」巻末2 - 12頁  
山本 進「図説 落語の歴史」巻末134頁

安楽庵策伝（宮尾興男訳注）「醒睡笑」巻末714 - 722 頁

武藤禎夫「定本 落語三百題」巻末471 - 475 頁

中川 桂「江戸時代落語家列伝」229 頁 - 236 頁

岡田則夫編「落語研究資料解題 明治～平成一速記本・SP レコードデータ」(16)

【落語本のあれこれ - 諸カテゴリー】

(1)

落語の歴史的概説書・研究書

落語全集（名作落語全集、落語撰集、古典落語大系、上方落語など）

個人の落語集（円朝全集、円生全集、志ん生4部作、米朝上方落語選など）

はなし家の自叙伝・芸談・逸話

寄席・落語に関する評論・随筆

(2)

落語研究

速記に残された落語

落語家の自伝・芸談

上方落語についての本

創作・随筆・鑑賞のための本

全集本あれこれ

雑

2018/03/12 08/18(最新版)

## 江戸小咄

(興津 要「小咄の歴史」『江戸小咄』485頁以下所収)

(武藤禎夫「噺本概説」『江戸小咄辞典』1頁以下所収)

(小高敏郎「解説」『江戸笑話集』3頁以下所収)

### 寛永時代 初期噺本

「戯言養気集」

安楽庵策伝「醒睡笑」(1628)

「きのふはけふの物語」(1647)

松長伊右衛門「百物語」(1659)

中川喜雲「私可多咄」(1659)

### 元禄時代 1688 - 1704 軽口本

露の五郎兵衛「軽口 露がはなし」(1691)、露休ばなし(1704)

彦八「軽口御前男」(1704)、「軽口耳過宝」(1742)

椎本下物＝岡本対山「年忘噺角力」(1776)

鹿野武左衛門「口伝咄」(1683)、「鹿の巻筆」(1693)

「枝珊瑚珠」(1691) (武藤禎夫編「噺本大系 第6巻」所収)

木室卯雲「鹿の子餅」(1772 明和9) 江戸小咄本

小松屋百亀「聞上手」(1773)

蜀山人「鯛の味噌津」(1779)

### 寛政から文化・文政時代 1790 - 1830

烏亭焉馬撰「喜美談語」(1795)

烏亭焉馬撰「詞葉の花」(1796)

烏亭焉馬撰「無事志有意」(1797)

桜川慈悲成「三才知恵」(1797)

同「一口饅頭」

同「延命養談数」(1833)

一九「臍繰金」(1802)

三笑亭可楽「東都真衛」、「山しょ味噌」、「十二支紫」

江戸小咄集

戯言養気集

安楽庵策伝 醒睡笑(1628)

きのふはけふの物語(1647)

小高敏郎編「江戸笑話集」(日本古典文学大系 100)

武藤禎夫編「近世笑話集 上・中・下」

宮尾しげを編「江戸小咄集 1, 2」(東洋文庫 192・196)

本書巻末に「定本笑話本小咄本書目年表(一)・(二)」がある。

興津 要編「江戸小咄」、「江戸小咄(続)」

小高敏郎編「江戸笑話集」（日本古典文学大系 100）

きのうはけふの物語

鹿の巻筆

軽口露がはなし

軽口御前男

鹿の子餅

聞上手

鯛の味噌津

無事志有意

宮尾しげを編「江戸小咄集 1, 2」（東洋文庫 192・196）

本書巻末に「定本笑話本小咄本書目年表（一）・（二）」がある。

俗談今歳花時

今歳咄二篇

和良井久佐

峠の落穂

今歳笑

珍話金財布

当世新話はつ鱈

好文木

千年艸

百福茶大年咄

華えくぼ

恵方みやげ

おとしばなし春の山

笑談聞童子

笑長者

喜美談語

はなし売

忠臣蔵役割狂歌咄

笑府商内上手

絵本江戸錦

おとし譚富久喜多留

箆細工はなし

笑府宝の蔵入り

忠臣蔵開帳

興津 要編「江戸小咄」、「江戸小咄（続）」

話稿鹿の子餅

珍話楽牽頭（がくたいこ）

楽牽頭後篇坐笑産

聞上手

聞上手二篇

御伽草

俗談今歳花時

興話飛談語

再成餅（ふたたびもち）

茶のこもち  
新話一のこもり  
鹿子餅後篇譚囊  
鯛の味噌津  
落話臍繰金  
江戸前噺鰻

近目貫  
千里の翅  
噺稚獅子  
高笑い  
鳥の町  
蝶夫婦  
金財布  
うぐいす笛  
巳入吉原井の種  
滑稽好  
笑の友  
一口饅頭  
甲子待鼠噺口豆飯  
新作種がしま

武藤禎夫編「近世笑話集 上・中・下」

当世手打笑  
当世はなしの本  
かの子ばなし  
軽口御前男  
露休置土産

話稿鹿の子餅  
珍話楽牽頭（がくたいこ）  
聞上手  
俗談今歳花時  
茶のこもち  
新口花笑顔  
鳥の町

落噺詞葉の花  
落噺臍くり金  
落噺江戸嬉笑  
新選臍の宿替  
新作種が島  
落噺屠蘇喜言  
新作太鼓の林  
面白し花の初笑

浜田義一郎＝武藤禎夫編「日本小咄集成 上・中・下」(71)

上巻

戯言養気集  
昨日は今日の物語  
醒睡笑  
当世軽口咄揃い  
はなし大全  
かの子ばなし  
軽口御前男  
露休置土産  
軽口初笑  
軽口剽金苗  
絵本初音森  
軽口独狂言  
軽口春の遊

中巻

鹿の子餅  
楽牽頭  
坐笑産  
近日貫  
聞上手  
聞上手二篇  
聞上手三篇  
口拍子  
今歳噺  
飛談語  
友だちばなし  
吟咄川  
再成餅  
軽口五色帟 (かみ)  
茶のこもち  
富来話有智  
聞童子  
一のもり

下巻

一の富  
立春噺大集  
譚囊  
福の神  
こころの春さめ咄  
萬の宝  
民和新繁  
笑顔はじめ  
柳巷訛言  
大雅楽  
喜美談語

臍線金  
広品夜鑑  
江戸嬉笑  
浪速みやげ  
種がしま  
恵方棚  
たいこの林  
粹興奇人伝

武藤禎夫＝岡雅彦編「断本大系 全20巻」(75 -79)

1巻

寒川入道筆記  
戯言養気集  
昨日は今日の物語  
わらいくさ  
百物語  
私可多咄

2巻

## 落語史年表

興津要「落語 笑いの年輪」241頁以下

### 江戸時代

#### I 戦国乱世から太平の時代へ（織豊から徳川の天下・江戸幕府の確立）

1600 慶長5

関ヶ原の戦い

1603 慶長8

江戸幕府

1614-15 慶長19-元和1

大阪の役

1615 元和1

幕藩体制確立・武家諸法度

1635 寛永12

寛永期（1624-1643）の文化

武家諸法度（寛永令）

戯言養気集・醒睡笑・きのふはけふの物語・百物語・私可多咄

1641 寛永18

鎖国（出島に限る）

1642 寛永19

寛永の飢饉

1649 慶安2

慶安の触書

1651 慶安4

家光死去家綱へ

1665 寛文5

諸宗寺院法度

#### II 天下泰平の時代

1688 元禄1

元禄期（1688-1704）の文化 西鶴・芭蕉・近松

綱吉

露の五郎 露がはなしなど・

彦八 軽口御前男

鹿野 鹿の巻筆など

枝珊瑚珠

1701 宝永4

富士山の大噴火

1703 宝永6

家継

1711 正徳1

1716 享保1

吉宗

1742 寛保2

1758 宝暦8

家重

1767 明和4

家治

1772 安永1

〃 田沼意次老中となる

1782 天明2

天明期

〃 天明の大飢饉 年忘嘶角力・鹿の子餅・聞上手・万の宝

1787 天明7

家斉 天明の打ちこわし。 松平定信、老中となる

1789 寛政1

〃 寛政の改革

焉馬

1803 文化1

文化・文政期(1803-1829)の文化

洒落本・滑稽本・黄表紙・人情本・式亭三馬・一九

喜美談語・詞葉の花・無事志有意・三才知恵・一口饅頭・延命養談数

可楽 自筆小咄集 三題嘶

正蔵 林家落嘶

文治 臍の宿替え

1825 文政08年

異国船打払令を出す

1828 文政11

〃 シーボルト事件

1833 天保4

〃 天保の大飢饉

1844 弘化1

### Ⅲ 幕末から維新へ

1853 嘉永6

〃 ペリー浦賀に来航、

1854 安政1

家定 日米和親条約。 日英・日露和親条約

1858 安政5

家茂 井伊直弼、大老となる。 日米修好通商条約。安政の大獄

1860 万延1

〃 桜田門外の変

1862 文久02年

〃 坂下門外の変。 生麦事件。 慶喜・慶永ら幕政改革

1867 慶応3

慶喜

